

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社 R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：すくすく保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：林 浩子	定員（利用人数）：60名（72名）	
所在地：〒224-0027 横浜市都筑区大榎町74-12		
TEL：045-595-0415	ホームページ：	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2001年 4月 1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 長幼会		
職員数	常勤職員：23名	非常勤職員：5名
専門職員	（専門職の名称）	名
	園長：1名	保育士：19名
	保育助手：2名	事務：1名
	栄養士：1名	調理師：3名
	看護師：1名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	乳児室 1室	調理室
	保育室 5室	調乳室
		乳幼児用トイレ 4箇所
		遊技場
		地域子育て支援スペース

③理念・基本方針

<理念>

●子どもの人権や主体性を尊重し、保護者と一体となり、心身ともに健康な児童を育てることを目標としています。

「思いやりのあるたくましい子の育成」

<基本方針>

- 次世代を支える子どもたちと、その家族を支えるより良い保育環境の構築。
- 子どもの最善の利益を守り、安心・安全な保育を目指す。
- 子どもの健やかな育ちを支援し、地域の子育て支援の拠点としての役割を果たす。
- 高齢者や地域の方々との触れ合いを通じた心豊かな保育を目指す。

④施設・事業所の特徴的な取組

●すくすく保育園の経営は、社会福祉法人長幼会（以下、法人という）の経営です。法人の理事長は「水野クリニック」の院長であり、また、クリニックを母体とする医療法人活人会（老健、居宅介護支援事業所、高齢者グループホーム、訪問リハビリテーション）の理事長でもあり、「おひさま病児保育室」も運営し、乳児から高齢者まで福祉サービスを提供し、地域へ大きく貢献しています。すくすく保育園は、平成13年4月1日設立され、その後「横浜みなとみらい保育園」の新設、「千丸台保育園」（横浜市）、「玉川保育園」（川崎市）の民営化を引き受け、現在、法人で4保育園を運営しています。4園それぞれ設立も立地・環境も全く異なり、法人系列園とする画一的な運営ではなく、それぞれの特徴・個性を最大に生かし、のびのびとした園運営とし、固定概念を払拭し、逆転の発想の采配により法人の特色・強みにつながっています。

●すくすく保育園の立地は、地下鉄グリーンライン東山田駅から徒歩で12～3分、地下鉄ブルーラインのセンター北駅からも徒歩可能な新興住宅地に位置し、自然に恵まれた健康的な環境です。現状、保育業界は人材不足であり、新規採用が望ましいところですが、すくすく保育園は比較的人材を確保しており、現在は定着を大事にして取り組んでいます。具体的には、1. 「人事評価制度の導入」、2. 「キャリアパスに基づく職務と賃金処遇のあり方、研修参加の為に職員体制」、3. 「福利厚生制度の充実（宿舍借り上げ支援制度、医療保険への加入（法人負担））」の3点に力を入れ、職員の満足度（ES）に注力しています。

特徴ある4つの保育園の集合体による相互の研鑽、各園の環境に応じたスパイスの効いたそれぞれの展開が期待される法人であり、その中でもすくすく保育園は、各職員のベクトルを1つにして明るくのびのびと保育にあたっています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2019年 12月 18日（契約日）～ 2020年 7月 22日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（2015年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1. 【豊かな自然、楽しい食育】

●すくすく保育園の立地は、横浜市営地下鉄センター北、センター南から2駅しか離れていない地域でありながら、自然がふんだんに残り、長閑な景色に包まれ、土と川等が身近にあることにより五感を育む豊かな環境が整っており、幼少期を過ごすのにこのように恵まれたところはそうありません。菜園活動では大根の種まきや収穫、さつまいも掘り、焼き芋会、じゃがいも掘りを通しての「食育」につなげた活動や、伝統行事の餅つき、団子づくり、どんど焼き等、様々な経験をできるように提供し、自然とのふれあいではカブトムシ、鈴虫、蚕、アゲハ蝶等の飼育、園庭での泥んこ遊びや年長児の園庭でテントを張ってのお泊り保育など、ダイナミックな体験ができます。今、都会では一番贅沢な生活であり、アスファルトの道路に高層マンションでは経験できないようなことを子どもたちは幼少期に体験を積み、すくすく保育園の子ども一人ひとりが培った経験値と心の宝物は、思いやりのあるたくましい子どもへと育まれ、成長の活力となっていくと思います。

2. 【和太鼓】

●「評価の高い点」に日常保育も挙げられますが、それ以上に特別保育が際立ち、取り組みに秀でているものとして、特に、「和太鼓」について挙げます。園から指導を依頼しているNPO法人「打鼓音」は、太鼓6台と大小の鼓を持参して来訪します。和太鼓、鼓笛隊等、取り入れられる園は限られており、他園でも取り組みに入れられない事情に立地の問題があります。すくすく保育園は、西側は道路、北側は法人系列の介護老人保健施設「都筑ハートフルステーション」、東側は老健の通路、南側は早淵川という立地であり、東西の住宅は敷地がゆったりしていることや、近隣の協力をいただきながら太鼓の音の苦情の出ない対応をしています。恵まれた環境下で子どもたち・保育士はいきいきと練習に打ち込んでいます。3歳から5歳まで、太鼓に慣れることから段階を追って本格的な太鼓を打つまでを習い、心地良く響く音色と力強い演奏姿は凛々しく印象的です。和太鼓は心身の健康、正しい姿勢、力いっぱい太鼓を叩くためストレスの解消にもなります。また、日本の伝統文化であり挨拶の仕方や目上への礼儀作法、団体演奏である協調性を培い、発表会の機会による表現力・度胸も身に付きます。すくすく保育園では、和太鼓の魅力と理解を基に園全体で積極的に取り組んでいます。

3. 【体操・英語】

●外部の講師を招いて行い、保育内容の充実を図ると共に子どもたちの可能性の芽を育て、和太鼓の他に英語と体操を実施しています。英語はネイティブな講師をインターナショナル・ランゲージ・ハウスより毎月派遣していただき、「英語で遊ぼう」を年間プログラムに入れて定期的に行っています。英語という言葉、日本以外の外国・人にふれる事により、情操教育につなげています。体操は、総合体育研究所神奈川に依頼し、子どもの健康増進、運動能力等の向上を図り、保育士も専門家の指導方法を吸収し、自己の保育力を上げる目的も含み、保育の質の向上にもつながる相乗を加味した良い取り組みです。

◇改善を求められる点

1. 【地域の中核園の自覚】

●横浜市の待機児童解消宣言に呼応して、新設保育園が雨後の筍の如くに開所されましたが、同時に神奈川県への移住も増え、待機児童は一向に減少が見られません。また、新設保育園は基本的に駅近であったり、マンションの専有分を活用した園庭を持たない園舎等も多く目立ちます。公立認可保育園が民営化で縮小化した現在、これらの園をまとめて指導する中核園が必要です。すくすく保育園は場所的、人的、規模的に適任と考えられ、大きく区をブロックに細分化して地域の保育園の指導、ネットワーク化を図る等、地域の中での活性化を図られることを期待します。さらには、公立認可保育園のセンター園のネットワーク保育士を中心に、地域の民間中核保育園の職員がメンバーとなった組織の動きがあると尚良く、すくすく保育園に期待を寄せます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

<評価に取り組んだ感想>

第三者評価の取り組みにあたり、全職員が自己評価を行い、乳・幼児の主任がまとめたものを、一つ一つの項目について保育主任と共に話し合い、確認することで園だけでなく法人としての取り組みを知り、また、保育についても自身の振り返りや見直しをする良い機会になりました。

今後も、恵まれた立地環境を活かし、季節の移ろいの中で自然とのふれあい、関連施設の高齢者の方や地域との交流を通して、保育目標である「思いやりのあるたくましい子の育成」に向け、日々の保育を大切に、保育の質の向上に繋げていきたいと思ひます。

<評価後取り組んだ事として>

1. 園として、子どもたち一人ひとりが自分らしさを発揮できるよう、寄り添い、気持ちを受け止めることを大切にできる、保育環境を整えていきたいと思ひます。
2. 法人として設立20年という節目を迎え、次の世代に引き継いでいくことを考え、人財育成の面でも、人事評価制度を活用しながら、人間力の向上を図り、モチベーションの維持・向上に繋げていく取り組みを行っていきます。
3. 法人の理念でもある「思いやり」を一步進め、社会福祉事業に携わる人としてのホスピタリティマインドの醸成に向け、職員一人ひとりが利用者の身になって考え、察して気付き、行動につながることをできるよう、そして、職員がやりがいを持って働き続けられる環境の整備を目指してきたいと思ひます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり